

# まえがき

近年、我が国においても橋梁本体については景観を配慮したものが多くなって来たことは喜ばしい。しかし、付属物を不用意に付けたために橋の全体の景観を著しく損ねているのを見る例が少なくないことは残念である。そこで鋼橋技術研究会の部会活動として平成8年度に「付属物を考慮した橋梁の美観」を特に取り上げることとした。

橋梁関係の付属物としては、支承、伸縮装置、排水装置、高欄、防護柵、検査施設、照明施設、標識フレーム、防音工など、多岐に亘っている。通常、安全を左右する橋梁の本体を中心に検討が行われるが、付属物については十分な景観的検討を経なかったり、後から取り付けが決まったり、工期が迫ったりすることなどが付属物が景観的に疎かになる原因であろう。また、どちらかと言えば経験の浅い者に任される傾向もあると考えられる。

一概に付属物といっても支承などは橋梁の機能や安全性に直接関わり、主部材なみの役割を持つ。伸縮装置、高欄、防護柵などは乗り心地や安全のため、排水装置は耐久性のため、照明施設や標識フレームは使用者の便のため、防音工は環境上、また、検査施設は橋梁の保守管理上、いずれも重要なものである。

いずれの付属物も景観上からは邪魔であっても止めてしまうと、その目的が充分果たされない様な物であってはならない。これらの付属物の機能や強度などについては、まさに、エンジニアに全責任が託されているが、これが橋梁の景観を害してしまえば技術者の恥である。アーキテクトに相談したり、共同で作業するのも解決方法の一つであろうが、橋梁の設計技術者が美観についての素養を磨き、付属物も含めて全体的に美しい橋を実現できるならば、それが最も好ましいことであると考えられる。橋梁設計者は常に付属物も含んで、当初から橋梁の美観を計画することが重要である。

橋梁の美観についてのガイドブックの類は従来から多く出版されているが、この報告書は橋梁の付属物を主眼とした点の特徴となっている。このデザインポイントが少しでもお役に立てば幸いであるが、今後、新種の付属物が現れる可能性もあるので、これもあくまで参考資料であり、せめて景観的に害となるケースを防ぐものであると考えて頂きたい。哲学もなく、ここに示す例に頼れば付属物による景観の問題は自動的に解消するなど考えないでほしい。

終わりに、この部会の活動を推進し、本報告書をまとめるに当たり、副部会長の磯光夫氏をはじめ、幹事、部会員の方々の長い期間にわたる並々ならぬ尽力があったことに感謝します。

部会長 阿部 英彦

## 鋼橋技術研究会 付属物の機能と景観の研究部会

部会長	阿部 英彦	足利工業大学
副部会長	阿部 喜久	(株)建設・環境研究所
〃	磯 光夫	(株)橋梁メンテナンス
幹事	佐藤 昌義	(株)宮地鐵工所
〃	岸 靖佳	(株)富貴沢建設コンサルタンツ
〃	河野 孝明	大日本コンサルタンツ(株)
〃	亀川 博文	(株)横河ブリッジ
〃	上野臺英孝	(株)巴コーポレーション
部会員	三輪 恭久	NKK
	山本 具宏	(株)オリエンタルコンサルタンツ
	篠田 知哉	片山ストラテック(株)
	猪本 真	川崎重工業(株)
	野原 葵	川田工業(株)
	西川 貴子	(株)建設・環境研究所
	岡本 安弘	(株)神戸製鋼所
	政木 英一	国際興業(株)
	黒田 岩男	駒井鉄工(株)
	曾我 信宜	(株)サクラダ
	宇田川重朗	三造リフレ(株)
	神谷 光昭	住友金属工業(株)
	青田 昇	住友重機械工業(株)
	片山 隆信	高田機工(株)
	服部美智彦	(株)東京鐵骨橋梁
	酒井 孝	日本橋梁(株)
	宮川 欣也	日立造船(株)
	佐竹 和昌	松尾橋梁(株)
	川嶋 克昌	三井造船(株)
	飯村 和義	(株)宮地鐵工所